



5Sとは何か

改善の第一歩は、5Sと呼ばれる改善です。整理・整頓・清掃・清潔・躰で表される頭文字のSです。この5つにはそれぞれ意味があり、正しく理解して取り組む必要があります。

整理

その場所で必要なモノと不必要なモノを分けて、不必要なモノを現場から排除すること。
(廃棄することではない)

整頓

その場所で必要なモノを、必要な時に、必要な量だけ、すぐに使える状態に取り出せるようにすること。3定を基本とする(定位・定品・定量)

清掃

ゴミや汚れをタイミングよく取り除くこと。自分たちが使っているものを隅々まで手を入れ、最高の状態にすること。
単なる掃除ではなく、清掃点検。

清潔

整理・整頓・清掃の3Sを維持する仕組みを作り、継続的に管理すること(3Sの標準化)。溜まったアカを洗い流す。アカを溜めない。異常や状況変化への対応力の強化。

しつけ

決められたことを、いつも正しく、守る習慣づけと、教育体系を構築すること。
企業内のルール全般を対象とする活動。当たり前になるまで。

5S改善の狙い

◆ 5S改善は企業体質の改善である

働きやすい職場

意識改革

効率的な職場

業務改革

- 安全な職場環境
- 規律ある職場
- 働く意欲溢れる職場

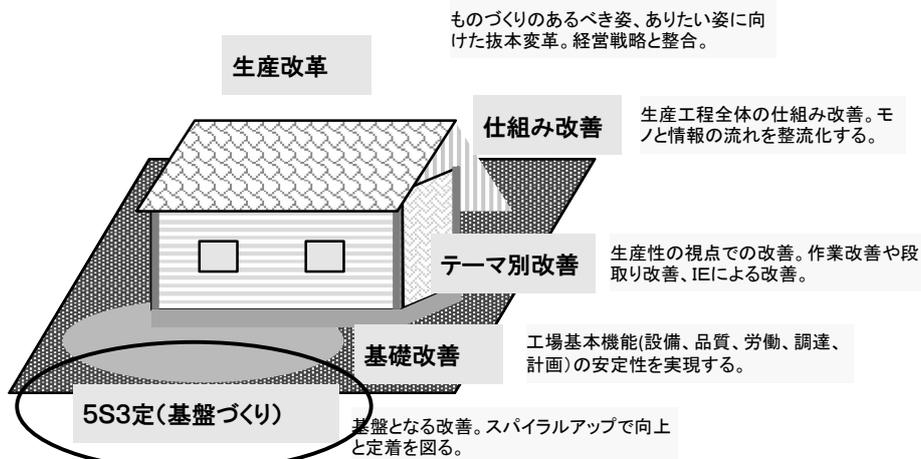
ムダラリ

- あらゆるムダが排除された職場
- ムリなく業務出来る職場
- 業務の結果にムラがない職場
- 受注変動、環境変化に柔軟に対応できる職場

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

5Sは改善活動と経営の基盤

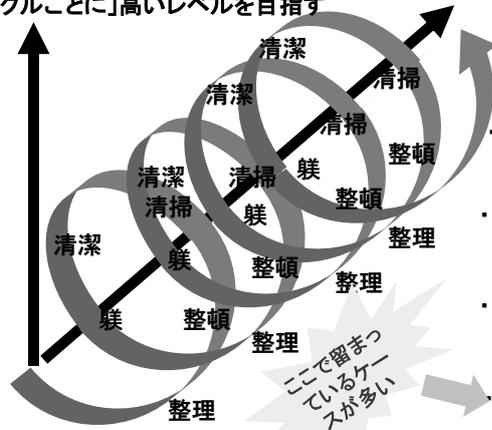
改善活動は家づくりに似ていると以前説明しました。しっかりした地盤(改善基盤)の上に家を建てないと環境変化にもろいものになります。しっかりした基礎築く上でも地盤強化は重要です。



Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

5Sはスパイラルアップで進める

1サイクルごとに「高いレベルを目指す」



5Sができれば儲かるとは限らないが、
儲かっている会社は5Sができています

- ...異常管理の5S
異常管理のみ、管理の要らないモノづくり、倉庫レス、工具レス
- ...生産性の5S
もっと品種切り替えを早く！
詳細な計画、段取り短縮の徹底追求！
- ...行動の5S
今の生産計画を守るようにしましょう！
歩行、運搬、ムダな動きは無くそう！
- ...見た目の5S
まず見た目から良くしよう！

経営目標を実現する上で、あるべき5Sの姿に向け、Step by Stepの目標設定を行い、最終目標の達成に向け活動することが理想です。

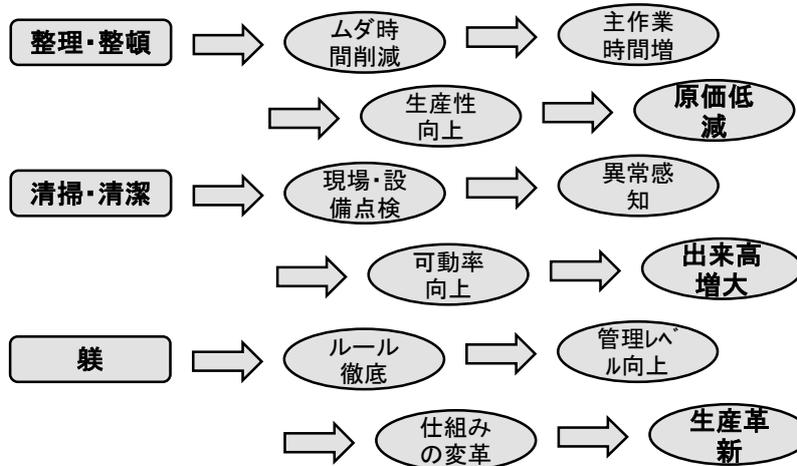
整理、整頓、清潔、清掃、躰を1サイクルとして、
サイクルごとにレベルアップ。

5Sはステップを踏んで繰り返し行われる。

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

5Sも徹底すれば、経営指標に直結する

5Sは改善活動の基本の「キ」であるとともに、深く理解し、活動を徹底することによって経営指標に直接結びつく改善活動につなげていくことができます。5Sの徹底により、ムダ時間を排除し、設備稼働率を向上させ、仕掛品を削減することにより生産性向上や、リードタイム短縮そしてキャッシュフローの改善にもつなげることが可能です。



Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

まとめ

- ◆ 5Sにはそれぞれ重要な意味がある
 - 整理／整頓／清掃／清潔／躰
- ◆ 5S改善は、企業体質の改善そのものである
 - 意識改革と業務改革
- ◆ 5S改善は、企業経営の基盤となる
 - 様々な機能、運用の基盤強化となる
- ◆ 5S改善は、Step-by-Stepで継続する
 - 目標を設定して、1サイクルずつ
 - サイクルごとにレベルアップを図る⇒ スパイラルアップ
- ◆ 5Sも徹底すれば、経営成果に直結する